年間授業計画 様式例

つばさ総合高等学校 令和8年度（１学年用）　　教科　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：　2　単位　2

対象学年組：第　１学年１・２組

使用教科書：　（書Ⅰ 光村図書□

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の文化についての基本的な知識を深める。書の基本的な表現技法を身につける。	意図に基づいて構想し、よりより作品になるように表現を工夫する能力を育成する。	感性を高め、主体的に書の文化に親しむようにする。積極的に書の制作をする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A単元 基本的な表現技法 【知識及び技能】 書の各分野の基本的な表現技法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの創作に応用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現技法を学ぶ態度を育成する。	・指導事項 漢字、仮名、漢字仮名交じり文の基本的な表現技法を指導する。 ・教材 等 書道道具・用材一式	【知識・技能】 基本的な表現技法を用いることができる。 【思考・判断・表現】 学んだ表現技法を創作に応用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	10
	B単元 古典の学習 【知識及び技能】 様々な古典の表現の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ古典の表現技法を創作に応用する。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の特徴を主体的に理解しようとする態度を養う。	・指導事項 古典を臨書し、各古典の表現の特徴を 学ぶ。 ・教材 等 書道道具・用材一式 作品用うちわ	【知識・技能】 各古典の表現技法で文字が書ける。 【思考・判断・表現】 各古典の表現技法を創作に応用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	16
２学期	C単元古典の臨書と創作の応用 【知識及び技能】 様々な古典の表現の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 創作の手順を理解し、古典の表現方法応用する。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを主体的に応用する。	・指導事項 古典を臨書し、その表現方法を創作に応用する方法を指導する。 ・教材 等 書道道具・用材一式、	【知識・技能】 各古典の表現技法で文字が書ける。 【思考・判断・表現】 創作の過程を理解し、古典の表現技法を応用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	18
	D単元 刻字 【知識及び技能】 様々な彫り方と制作手順を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意図に沿った表現ができるように工夫を続ける 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい作品になるように主体的に制作する。	・指導事項 セラミックボードに文字を彫り、書の立体的な表現を体験する。 ・教材 等 セラミックボード、彫刻刀、アクリル絵の具	【知識・技能】 様々な彫り方と制作手順を理解している。 【思考・判断・表現】 より良い作品になるように彫り方や彩色を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	14
３学期	E単元 紙面構成、漢字仮名交じり文の創作 【知識及び技能】 紙面構成による作品の印象の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 紙面構成を工夫した創作作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習成果を応用する態度を養う。	・指導事項 漢字仮名交じり文の創作を通して今までの学習をまとめる。 ・教材 等 書道道具・用材一式、半切サイズの用紙、	【知識・技能】 紙面構成の違いによる作品の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 紙面構成を工夫した創作活動をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 今までの学習を応用して積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	12 合計 70